



テクノストラクチャー工法により変形敷地を有効活用した賃貸アパート

## メゾンクレール

MAISON CLAIRE

テクノストラクチャー工法の敷地対応力を生かした賃貸アパート  
 多摩川中流左岸、東京都狛江市の中心に位置する小田急電鉄小田原線の狛江駅は、新宿への所要時間が約20分と、都心への通勤にも利便性が高い。その狛江駅からほど近い沿線に完成したのが、テクノストラクチャー工法によるメゾンクレール。建設用地は、2本の市道に挟まれた三角形の変形敷地(495.39m<sup>2</sup>)で、これまであった矩形平面の賃貸アパートを撤去して、三角形の敷地を有効に活用する建物が計画された。計画にあたって、当初は3階建ても検討されたが、第1種中高層住宅専用地域で建蔽率が

60%+10%(角地緩和)という条件を考えた場合、2階までと判断され、平面を雁行させて構成。200%の容積率を最大限生かすように設計された。  
 テクノストラクチャー工法は木造改良工法のため、規格寸法では建築しにくい変形敷地でも最大限に有効活用することが可能。これにより、2階建てで19室、延べ床面積651.96m<sup>2</sup>の賃貸アパートが建設された。また、建物の北側が斜線規制に該当するため、4.2寸勾配の傾斜をつける対応がとられている。ここにも、細やかな自由設計対応が可能なテクノストラクチャー工法の特長が生かされている。

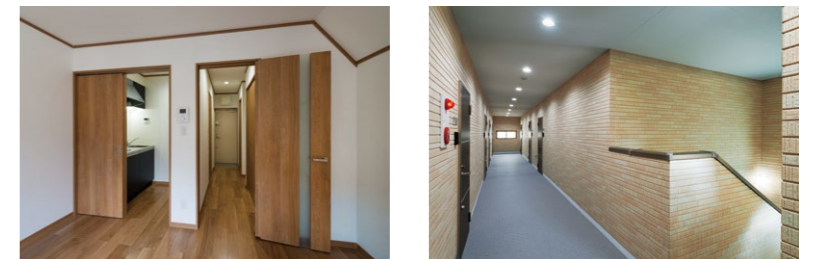
### メゾンクレール

所在地 / 東京都狛江市元和泉  
 施工主 / 個人  
 設計 / 株式会社ELハウジングカンパニー  
 施工 / 株式会社ELハウジングカンパニー  
 竣工 / 2014年6月  
 構造形式 / 木造(テクノストラクチャー工法)



階段吹き抜け部のテクノビーム(工事中)

完成後の階段吹き抜け部



斜線制限に対応した居室の天井(右上)

共用部廊下を中心に居室を配置

